

## 第2節 環境衛生

### 現状と課題

高度経済成長を契機とした大量生産、大量消費、大量廃棄型の生活や社会経済活動によって、自然破壊や公害、さらには、地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨など、さまざまな地球規模の環境問題が発生しています。

本町においては、人口の集中や社会経済活動の活性化、生活様式の変化等により、廃棄物問題や大気汚染、生活排水による河川の汚濁等、都市・生活型公害が生じています。

今後とも、良好な環境を育み、将来に引き継いでいくためには、環境問題を地球的視点でとらえ、住民・事業者・行政がそれぞれの立場に応じた役割分担のもとで連携し、協力しながら積極的に行動することが必要となっています。

特に、地球環境問題についての普及啓発活動をはじめとして、住民・事業者等の積極的な参加、協力や自発的な活動に対する支援等の充実を図りながら、地域活動を支える基本的な要素であるエネルギー、資源、水の効率的な利用を進めていくことが重要な課題となります。

また、し尿については、昭和58年に建設した浄化センターで適正な処理を進めています。し尿処理量の推移を見ると、公共下水道等の普及により年々減少しており、平成16年度は1日あたり22.5klとなっています。特に、生し尿は平成10年度の約70%にまで減少し、浄化槽汚泥も平成14年度から減少傾向に転じています。

本町の浄化センターは、施設の老朽化が進み、また、現在の実処理量が1日の処理能力50klの半分以下となっており、今後も減少が見込まれる処理量に応じた施設の整備が必要となっています。

環境衛生

環境汚染防止対策の推進

し尿処理体制の推進

## 1. 環境汚染防止対策の推進

### ①公害の予防と監視・指導の強化

澄んだ空気ときれいな水に囲まれた生活環境を確保するため、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染等に対する監視体制を強化し、公害の未然防止に努めます。

### ②騒音・振動・悪臭などの公害への対策強化

近隣騒音や悪臭などの住民相互の生活型公害による問題を未然に防止するため、近隣相互の良好な関係づくりの支援に努めます。

### ③環境保全の推進

清潔で快適なまちをつくるため、住民の環境美化意識の高揚を図りながら、住民・事業者・行政が一体となった環境美化活動を推進します。また、飼い犬のフン害等の防止に努めるとともに、愛がん動物の終生飼養の啓発等を推進します。

また、町地球温暖化対策実行計画に基づき、行政自らが環境への負荷の低減に努めるとともに、アイドリングストップ運動など地球温暖化、酸性雨等の地球環境問題への住民、事業者の積極的な取り組みを促進します。

## 2. し尿処理体制の維持

### ①し尿処理施設の適切な維持・管理

浄化センターについては、老朽化が進む中、処理量に応じた施設設備の適切な整備、修繕を推進しながら、放流水質の保全を図り、万全な処理体制の維持に努めます。

### ②適正な浄化槽の管理の周知

浄化槽の水質検査や清掃・保守・点検に対する周知を行います。

## ● 浄化センターにおける処理量の推移

単位:kl

年 度	し尿	浄化槽汚泥	合計	1日当たりの 処理量
平成10年度	3,421	7,836	11,257	30.8
平成11年度	3,151	7,184	10,335	28.3
平成12年度	2,897	6,940	9,837	27.0
平成13年度	2,863	7,013	9,876	27.1
平成14年度	2,654	6,920	9,574	26.2
平成15年度	2,518	6,619	9,137	25.0
平成16年度	2,439	5,773	8,212	22.5
平成17年度	2,409	5,617	8,026	22.0

資料:環境管理課

## ● 田原本町し尿処理件数の推移

単位:件

年 度	し尿	浄化槽	下水道
平成10年度	1,620	4,535	3,242
平成11年度	1,387	4,631	3,861
平成12年度	1,312	4,310	4,417
平成13年度	1,238	4,050	4,916
平成14年度	1,188	3,894	5,380
平成15年度	1,095	3,520	6,015
平成16年度	994	3,212	6,571
平成17年度	936	2,955	7,022

資料:環境管理課

